

童

2025年4月30日。

この童 たぶん 開園してからずっと 30 年間 毎月 書いてきたものです。文字だけでびっしりで、人目見ただけで、読むのに大変なエネルギーが必要で、読む事に敬遠されがちな現代では、イラストなどが入っていた方が、読みやすいでしょう。それでも、新聞の使命のように、社会のために訴える 現代の子育て事情に一石を投じる などというために、書いているのではなく、ただ 自分整理 一ヶ月単位の自分の生きた心の軌跡を まとめている という日記 いや 月誌 というものです。

だから、皆さんにぜひ 読んで欲しいというものではなく、一方的に お配りしている程度、スマホで配信すれば紙と印刷代が軽減できますが。街灯でのチラシ配り と同程度かもしれません。それでも 記憶に残るうれしさが、15 年ほど前にありました。巣立ちの会で、大地での思い出の品物の紹介の時 3 年間の童を綴じて これが 人生の指針を示してくれた宝物です と。

だから、大地の大事な事務連絡や重要なお願ひなどの配布物ではないので、適当に 手にしてもらえばよいので、気が向いた時、時間に余裕があるときに、目を通して頂けたら幸いです。

新学期開始。桜 しだれ桜 八重桜が 一気にそろい踏みしました。まさに 3 重奏。例年ならば、順番に咲いていくのですが。コゴミ タラの芽 ワラビ もほとんど 3 重奏。タラの芽は、5 月に入って と油断していたら、確実に例年より早い そこで 急遽 蕎麦給食が行われた訳です。

過去 経験してきた保育園勤務時代。4 月は 子どもたちが泣き叫び、逃げ出さないように鍵をかけ、ひたすら 慣れさせようと 皆 声をからして子どもたちを追い回し ぐたくたになった新学期。慣れさせるまで 最低 2 週間をはかったかも。それまで 毎日 子どもたちは泣いて登園。

それに比べたら、大地は 早咲き そろい踏み。スタッフ 子どもたち 保護者の穏やかな 3 重奏。そして、今年は、精神的にも、大地の基本柱の 3 重奏を奏でていきたいと思っています。



【秘書の役割】

他人に業務委託するのでは無く、ほとんど 自分でやりたがる（経費節減のためか、それとも 自分のスキルの種類の向上のためか 人を信じられない性格か 自分に自信があるのか 単なる好奇心の塊か 暇なのか・・・）性格が年齢と共に、災いして、スケジュール管理がいい加減になってきた。約束を忘れる、予約や人と会うことを忘れる、さっきまでの約束を忘れる、夕方の歯医者予約を反古にする事は日常茶飯事。

妻に、ほとんどのスケジュール管理をお願いし、カレンダーに自分で書いているにも関わらず、妻の提言も忘れて、次々にやりたいことをやり続け、約束を忘れてしまう日常。認知症ではなく、つつい 積み重なる業務を どんどんこなして夢中になってしまいうなかで、忘れてしまう日常。

一流企業の社長や経営者の秘書には、元 CA 出身などという記事がある。一応 妻も 元 CA ですけど？
秘書に向いている人の特徴 ①人をサポートする事が好きな人 ②柔軟性があり まめな人 ③口が堅い人 ④時間を守れる人 ⑤スケジュール管理能力 ⑥コミュニケーション能力 ⑦ビジネスマナー

秘書の仕事 ①スケジュール管理 ②来客対応 ③電話メール対応 ④文書作成 ⑤情報収集 ⑥各種手配 など

これを見たら 妻に 秘書の役割を求めるのは無理な事だとわかります。けれども、妻は 超一流な秘書ではなく、母親だと 断言できます。4 人の子どもの母親と同時に、30 年間 大地の母 として 活躍しています。

この 3 日間の連休に、洋服類の整理をしました。物置の奥にしまっている子どもの思い出と書かれたクリアケースに入っている 4 人の子どもの衣類。乳幼児時代によく着ていた衣類から高校生の部活時のユニフォームまで 思い出の品物として 大事にしまっておいた物。何度も処分しようと思いついて、まだ捨てられない としまっておいた物。

それでも 4 人が全て結婚し、両親から離れて、パートナーとの人生を歩んでいる時代になり、この思い出を何とか処分できる時が 妻にもやってきたようでした。

一つ一つ思い出にひたりながら、1 日半ほどかけて、自分の衣類も含めて ほぼ 軽トラ 1 台分もの衣類が積み上げられました。よくまあ これほどあったものです。

それでも 妻は こっそりと 4 人の子どものそれぞれのどうしても処分できない物を 大事に残していたようです。そして「私が亡くなった時、お棺にこれらを入れて欲しい」と 私に頼みました。いやいや この時代、女性の方が長生きするので、俺は無理だよ、子どもに頼むしかない と答えました。これを 横で聞いていた長女は、「さすが 伸子 母親だ！！ 伸子らしい」とつぶやいていました。

秘書ではなく、母親であって本当によかったと、思いました。子育てに 秘書のような役割 姿勢で臨む親が、最近多くなっているような気がします。更に、おっかけ ストーカー気分で、子育てしてしまう傾向も。

子どもが 将来困らないように、歩く道の先々を、箒で掃いて 苦労しないように、歩いて行けるように、管理してあげる。あらゆる子育て情報を集めて、遊び 玩具 衣類 など衣食住遊びまで管理サポートする。上記の秘書の役割を参照して下さい。確かに、子どもたちが 高学歴や親の理想の職業を目指すなら、この秘書的な役割は 必要かもしれません。いや この秘書的な役割で、幸せを手に行っている例もたくさんあります。現代では、これが主流かもしれません。あえて 否定はしません。

子ども時代の保証と言うより、親子時代の保証。子どもが子どもらしく、その時代を生きる と、私たちも考えてきましたが、今になり、それ以上に、**幸せな親子時代の保証**の方が 大切ではないか と考えるようになりました。当たり前の一つ屋根の下で 、食事を共にし、本を読んだり 野山へ出かけたり する日常こそが、現代では 貴重ではないかと。遊び 食事 習い事 などなど スケジュールに追われ、ぼんやりのんびり 家で過ごす 事が、一番子どもにとって幸せなはずなのに。住宅環境や家族構成の変化も、大きな要因ですが。

今になって、大地の環境 美しさ は最高だとしみじみ痛感していますが、4 人の子どもの子育て時代は、この環境の美しさを、休日に堪能する事は、全くありませんでした。環境を整える事に必死で、家族で これを楽しむ事も皆無。今考えれば、とても惜しいことをしたと後悔しています。それでも、4 人は 友達や家族を連れてきて、大地を紹介して誇りにしてくれているようで、嬉しく思います。

幸せな親子時代は、大人からの良かれと思う一方通行な秘書的な姿勢、子どもからの衝動的な一方通行のわがままな要求 からは 生まれません。どちらかと言うと、楽観的 のんびり ちょっぴり間拔な メルヘンとファンタジーに富んだ 母親 が キーワードであるような気がします。私の経験から言うと・・・